

武蔵嵐山：  
嵐山溪谷の河原に広がる岩畳 対岸の斜面地には奥深い緑が



撮影：2015年10月（埼玉県・比企郡嵐山町）

◆嵐山町名発祥の地

「武蔵嵐山」は小京都嵐山の町名発祥の地であり、槻川の清流、岩畳の河原、まわりの木々が織りなす川と緑のみごとな自然景観が見られます。休日ともなれば溪谷の川遊びやバーベキューなどを楽しむ家族や若者グループでいっぱいです。

◆さいたまの緑トラスト保全地

大平山に続く緩やかな斜面地が、槻川の流れと一体になって魅力的な景観をつくり出しています。休養地には「オオムラサキの森活動センター」などが整備されています。

岡村幸二（JRRN会員）